



第3回 全国高校生プレゼン甲子園 実施要項

- 1 主 催 全国高校生プレゼン甲子園実行委員会（事務局 福井県教育委員会）
- 2 共 催 一般社団法人プレゼンテーション協会
- 3 目 的 テーマについて深く考察し、自分の考えや^{おも}念いを「伝える」ことで、論理的思考力、表現力、創造力等を養うとともに、互いの発表を通して、プレゼンテーションスキルの向上を図る。
- 4 テー マ <予選・決勝大会共通>
「Well-being（ウェルビーイング）と未来社会 -幸せとは何か-」
Well-being（ウェルビーイング）とは、「肉体的、精神的、社会的など全てにおいて満たされた状態の多面的な幸せ」を指す言葉であり、瞬間的な幸せを表す「Happiness」とは異なる「持続的な幸せ」を意味するとされています。単に個人の幸せの追求に止まらず、広く、地域社会もしくは日本や世界全体の Well-being を実現するための具体的なアクションについて提案してください。
- 5 応募条件
 - ・ 高校生 1 チーム 3 名まで（個人でも可）
※令和 5 年度に高等学校（中等教育学校の後期課程を含む）、特別支援学校高等部、高等専門学校（3 年生まで）に在籍していること
 - ・ 同一学校でチームを組む
 - ・ 1 人 1 回の応募とする
- 6 応募方法
 - ・ 公式サイトのお応募フォームから予選のプレゼン動画を提出する。
応募の流れ ①プレゼン資料作成
テーマを研究し、プレゼンの構成を考える。
※プレゼンに使うツールは自由。ただし、プレゼン動画撮影後の動画編集は不可（例：文字テロップの挿入、効果音の追加など）
②動画を撮影（予選のプレゼン時間は 3 分以内）
スマートフォンでの撮影も可
発表者が画面に見えていること（一時的に見えないのは可）
※プレゼン動画は、通しで撮影し、編集はしないこと
③応募フォームに必要事項を記入し、動画をアップロードするデータが大きい場合「ギガファイル便」などを利用
- 7 日 程 予選審査
 - ・ 1 次審査 令和 5 年 5 月 2 6 日（金）～ 6 月 7 日（水）
予選動画提出
 - ・ 2 次審査 令和 5 年 7 月 8 日（土）、9 日（日）
ブロック選抜（オンライン開催）決勝大会 令和 5 年 8 月 1 9 日（土）
対面でのプレゼンおよび質疑応答

- 8 予選審査
- 1次審査
- ・審査員が応募作品を視聴し審査（非公開）
 - ・結果をとりまとめ、地域ブロックごとに上位3チームを選出
- 2次審査
- ・1次審査で選抜された21チームに対し、審査員が予選動画の内容についてオンラインで質疑応答を実施
 - ・地域ブロックごとに決勝大会に進出する1チームを選抜
 - ・各地域ブロック代表8チーム、開催県代表1チーム、左記以外の12チームから審査委員長前田鎌利氏による推薦1チームの計10チームが決勝大会に進出
- 各ブロック選出数
- 北海道・東北ブロック（1）、関東ブロック（2）、
北信越・東海ブロック（1）、近畿ブロック（2）、
中国・四国ブロック（1）、九州・沖縄ブロック（1）、
開催県代表（1）、審査委員推薦チーム（1） 計10チーム
- 9 決勝大会
- ・開催場所 ハピリンホール（福井市にぎわい交流施設ハピリン内）
福井県福井市中央1丁目
 - ・予選審査で選抜された10チームが、5分間のプレゼンを行い、その後、審査委員との質疑応答
 - ・決勝大会の様子はリアルタイム配信および後日録画配信（YouTube）
※新型コロナウイルス感染症の状況によっては、開催方法等を変更する場合あり
 - ・全出場チームによるプレゼン後、審査委員によって順位を決定し、表彰
- 10 審査委員
- 予選審査（8名）
前田鎌利氏（審査委員長）
一般社団法人プレゼンテーション協会および福井県教育庁
- 決勝審査（6名）
前田鎌利氏（審査委員長）
全国高校生プレゼン甲子園実行委員
- 11 審査基準
- (1)テーマに対する考察、根拠、論理性、独創性
 - (2)メッセージの伝わりやすさ、構成
 - (3)印象的、効果的なスライド等のビジュアル
 - (4)話し方、訴求力、説得力
 - (5)質疑応答
- 12 表 彰
- 最優秀賞 1組 副賞：福井県特産品一人5万円相当
優秀賞 3組 副賞：福井県特産品一人1万円相当
特別賞 1組 副賞：福井県特産品一人5千円相当
奨励賞 5組 副賞：福井県特産品一人3千円相当
スポンサー賞、ブロック賞（各ブロック上位3チーム）、学校奨励賞
参加賞 福井県立恐竜博物館年間パスポート（決勝出場者全員）